

決算報告書

第 13 期

自 2023年 4月 1日

至 2024年 3月31日

特定非営利活動法人 居場所塾 -クラブ 08

茨城県つくば市島名 2 2 9 8 番地

活 動 計 算 書

[税込] (単位:円)

特定非営利活動法人 居場所塾[®]-トクワ[®] 〇〇

自 令和 5年 4月 1日 至 令和 6年 3月31日

【経常収益】

【受取会費】

正会員受取会費	100,000	
賛助会員受取会費	105,000	205,000

【受取寄付金】

受取寄付金		1,265,100
-------	--	-----------

【受取助成金等】

受取助成金	34,480,350	
受取補助金	596,000	35,076,350

【事業収益】

事業 収益		33,507,166
-------	--	------------

【その他収益】

受取 利息	60	
雑 収 益	2,264,877	2,264,937

経常収益 計

72,318,553

【経常費用】

【事業費】

(人件費)

給料 手当(事業)	24,269,157	
通 勤 費(事業)	537,331	
法定福利費(事業)	2,885,557	
福利厚生費(事業)	172,620	
人件費計	27,864,665	

(その他経費)

事業 支出(事業)	7,192,440	
業務委託費(事業)	5,618,862	
教 材 費(事業)	295,409	
会 議 費(事業)	231,507	
旅費交通費(事業)	2,638,227	
通信運搬費(事業)	1,218,623	
消耗品 費(事業)	3,322,860	
修 繕 費(事業)	192,434	
水道光熱費(事業)	1,782,812	
地代 家賃(事業)	10,171,440	
賃 借 料(事業)	2,218,436	
接待交際費(事業)	39,720	
保 險 料(事業)	1,181,701	
諸 会 費(事業)	392,900	
租税 公課(事業)	544,300	
研 修 費(事業)	31,800	
支払手数料(事業)	123,909	
雑 費(事業)	36,951	
広告宣伝費(事業)	34,614	
その他経費計	37,268,945	

事業費 計

65,133,610

【管理費】

活 動 計 算 書

[税込] (単位:円)

特定非営利活動法人 居場所ホム・トクワ・ロハ

自 令和 5年 4月 1日 至 令和 6年 3月31日

(人件費)			
給料 手当	2,143,936		
役員 報酬	3,960,000		
通 勤 費	32,328		
法定福利費	580,217		
福利厚生費	14,063		
人件費計	<u>6,730,544</u>		
(その他経費)			
印刷製本費	53,163		
会 議 費	54,607		
旅費交通費	179,678		
通信運搬費	628,797		
消耗品 費	303,065		
修 繕 費	106,770		
水道光熱費	14,986		
地代 家賃	102,000		
賃 借 料	95,854		
接待交際費	252,062		
保 険 料	300,885		
諸 会 費	115,900		
租税 公課	9,956		
支払手数料	1,171,952		
支払 利息	212,616		
雑 費	27,770		
その他経費計	<u>3,630,061</u>		
管理費 計		<u>10,360,605</u>	
経常費用 計			<u>75,494,215</u>
当期経常増減額			3,175,662
【経常外収益】			
経常外収益 計			0
【経常外費用】			
過年度損益修正損		<u>447,368</u>	
経常外費用 計			<u>447,368</u>
税引前当期正味財産増減額			3,623,030
法人税、住民税及び事業税			<u>72,000</u>
当期正味財産増減額			3,695,030
前期繰越正味財産額			<u>22,300,601</u>
次期繰越正味財産額			<u>18,605,571</u>

貸借対照表

特定非営利活動法人 居場所塾 -トクワ- 〇〇
全事業所

[税込] (単位:円)
2024年 3月31日 現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未払金	13,245,658
小口現金	239,507	未払費用	210,251
普通預金	502,538	前受金	396,460
現金・預金計	742,045	短期借入金	31,675
(売上債権)		預り金	450,974
未収金	6,019,701	仮受金	3,372,380
売上債権計	6,019,701	未払法人税等	72,000
(棚卸資産)		流動負債計	17,779,398
貯蔵品	219,068	【固定負債】	
棚卸資産計	219,068	長期借入金	18,759,302
(その他流動資産)		固定負債計	18,759,302
前払費用	522,430	負債合計	36,538,700
立替金	1,724,020	正味財産の部	
仮払金	160,000	【正味財産】	
預け金	271,977	前期繰越正味財産額	22,300,601
その他流動資産計	2,678,427	当期正味財産増減額	3,695,030
流動資産合計	9,659,241	正味財産計	18,605,571
【固定資産】		正味財産合計	18,605,571
(有形固定資産)			
土地	1,100,000		
建物	31,595,714		
建物附属設備	3,211,735		
構築物	600,178		
車両運搬具	3,983,771		
什器備品	2,092,629		
有形固定資産計	42,584,027		
(投資その他の資産)			
保証金	20,000		
敷金	2,273,194		
投資有価証券	500,000		
長期前払費用	88,389		
リクル預託金	19,420		
投資その他の資産計	2,901,003		
固定資産合計	45,485,030		
資産合計	55,144,271	負債及び正味財産合計	55,144,271

財 産 目 録

特定非営利活動法人 居場所塾[®]-トケブ[®] 04[®]
全事業所

[税込] (単位:円)
令和 6年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)		
小口 現金	239,507	
普通 預金	502,538	
現金・預金 計	742,045	
(売上債権)		
未 収 金	6,019,701	
売上債権 計	6,019,701	
(棚卸資産)		
貯 蔵 品	219,068	
棚卸資産 計	219,068	
(その他流動資産)		
前払 費用	522,430	
立 替 金	1,724,020	
仮 払 金	160,000	
預 け 金	271,977	
その他流動資産 計	2,678,427	
流動資産合計		9,659,241

【固定資産】

(有形固定資産)		
土 地	1,100,000	
建 物	31,595,714	
建物附属設備	3,211,735	
構 築 物	600,178	
車両運搬具	3,983,771	
什器 備品	2,092,629	
有形固定資産 計	42,584,027	
(投資その他の資産)		
保 証 金	20,000	
敷 金	2,273,194	
投資有価証券	500,000	
長期前払費用	88,389	
引当預託金	19,420	
投資その他の資産 計	2,901,003	
固定資産合計		45,485,030
資産の部 合計		55,144,271

《負債の部》

【流動負債】

未 払 金	13,245,658
未払 費用	210,251
前 受 金	396,460
短期借入金	31,675
預 り 金	450,974
仮 受 金	3,372,380
未払法人税等	72,000

財 産 目 録

特定非営利活動法人 居場所塾[®]-トケブ[®] Ⅱ[®]
全事業所

[税込] (単位:円)
令和 6年 3月31日 現在

流動負債 計		17,779,398	
【固定負債】			
長期借入金	<u>18,759,302</u>		
固定負債 計		<u>18,759,302</u>	
負債の部 合計			<u>36,538,700</u>
正味財産			<u>18,605,571</u>

特定非営利活動に係る事業会計損益計算書

特定非営利活動法人 居場所塾 -トクブ 08
全事業所

[税込] (単位:円)

自 2023年 4月 1日 至 2024年 3月31日

【経常収益】

【受取会費】

正会員受取会費 100,000
賛助会員受取会費 105,000

【受取寄付金】

受取寄付金 1,265,100

【受取助成金等】

受取助成金 34,480,350
受取補助金 596,000

【事業収益】

事業 収益 33,507,166

【その他収益】

受取 利息 60
雑 収益 2,264,877

経常収益 計

72,318,553

【経常費用】

【事業費】

(人件費)

給料 手当(事業) 24,269,157
通 勤 費(事業) 537,331
法定福利費(事業) 2,885,557
福利厚生費(事業) 172,620
人件費計 27,864,665

(その他経費)

事業 支出(事業) 7,192,440
業務委託費(事業) 5,618,862
教 材 費(事業) 295,409
会 議 費(事業) 231,507
旅費交通費(事業) 2,638,227
通信運搬費(事業) 1,218,623
消耗品 費(事業) 3,322,860
修 繕 費(事業) 192,434
水道光熱費(事業) 1,782,812
地代 家賃(事業) 10,171,440
賃 借 料(事業) 2,218,436
接待交際費(事業) 39,720
保 険 料(事業) 1,181,701
諸 会 費(事業) 392,900
租税 公課(事業) 544,300
研 修 費(事業) 31,800
支払手数料(事業) 123,909
雑 費(事業) 36,951
広告宣伝費(事業) 34,614

その他経費計

事業費 計

37,268,945

65,133,610

【管理費】

特定非営利活動に係る事業会計損益計算書

特定非営利活動法人 居場所塾 -トクブ D^
全事業所

[税込] (単位:円)

自 2023年 4月 1日 至 2024年 3月31日

(人件費)		
給料 手当	2,143,936	
役員 報酬	3,960,000	
通勤 費	32,328	
法定福利費	580,217	
福利厚生費	14,063	
人件費計	6,730,544	
(その他経費)		
印刷製本費	53,163	
会 議 費	54,607	
旅費交通費	179,678	
通信運搬費	628,797	
消耗品 費	303,065	
修 繕 費	106,770	
水道光熱費	14,986	
地代 家賃	102,000	
賃 借 料	95,854	
接待交際費	252,062	
保 険 料	300,885	
諸 会 費	115,900	
租税 公課	9,956	
支払手数料	1,171,952	
支払 利息	212,616	
雑 費	27,770	
その他経費計	3,630,061	
管理費 計		10,360,605
経常費用 計		75,494,215
当期経常増減額		3,175,662
【経常外収益】		
経常外収益 計		0
【経常外費用】		
過年度損益修正損	447,368	
経常外費用 計		447,368
税引前当期正味財産増減額		3,623,030
法人税、住民税及び事業税		72,000
当期正味財産増減額		3,695,030
前期繰越正味財産額		22,300,601
次期繰越正味財産額		18,605,571

2023年度（令和5年度）の事業報告書
2023年4月1日から 2024年3月31日まで

認定特定非営利活動法人
居場所サポートクラブロベ

1 事業の成果

(1) 学童クラブの開設・運営事業・子育て支援に関する相談・イベントなどの企画運営事業

◎アフタースクール・ロベ/ネオ/みどりの

本年度は保育の質の向上の成果もあり、入所人数が増加し、万博教室は1室増室して運営する運びとなった。それぞれの教室をアフタースクール・ロベ、アフタースクールネオと名付けた。2教室とも、縦割り班で楽しく触れ合ったり協力して活動に取り組んだりすることができた。本年度も子どもたちの「生きる力」を育むため、声掛けなど保育の向上を図ると共に、子ども達がお互い認め合える様、お互いのいいところを伝え合う「いいことカード」の取り組みを実施した。また、多様な性の理解を深める目的として、外部講師を招き「性教育」のお話会も定期的に開催した。

◎ロッカーと下駄箱がリニューアル

公益財団法人樫の芽会様の助成金に採択いただき、古くさびれてしまっていたロッカーと靴箱を新しくした。ロベのカラーであるピンク色と水色のロッカーは部屋を明るくし、子ども達も大変喜んでいて。無料塾と共有している。



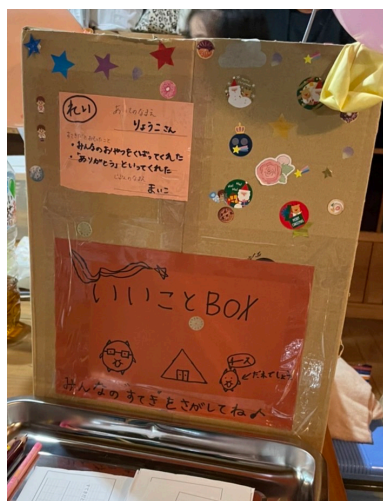
◎お泊りイベント

アフタースクール・ロベ+ネオで、昨年初めてのお泊りイベントとしてサマーキャンプを実施。今年も子ども達の熱い希望によりサマー合宿を実施した。昨年のサマーキャンプの経験もあり、子ども達自ら考え食事の準備や片付けなど声を掛け合いながら行っていた。初めて参加する1年生も、そんな先輩達の背中を見て自分で出来る事は自分でやる意識が生まれていた。



◎いいことBOXを導入

小さな事をたくさん褒め合う仕組みとして、【いいことBOX】を導入。互いにたくさん「いいところ」を伝え合い、「自分にもこんないいところあるんだ」という自信を、少しずつでももてるよう実施。友達からの素敵評価をもらう事で、自己肯定感を高めることができた。新しいことにチャレンジする気力が湧いている様子が伺えた。



学童保育では、例年に倣い特別プログラムを実施。

① 算数・国語塾プログラム、②書道プログラム、③英会話プログラム ④心理学プログラム

- ① 算数・国語塾タイムでは、無学年教材「のびのびじゃんぷ」を使用。「のびのびじゃんぷ」には学年表示がなく、ムリなくできるところから「毎回 100 点!」の自信を積み重ねながら、ステップアップする。学ぶ＝楽しいと感じてもらえる様に、子どもたちのサポートを行った。
- ② 書道タイムでは、日本習字の先生のもと、硬筆と毛筆を習う。お習字の効果は、ノートに書く字もみるみる上達していき、学習面にも良い影響が得られた。級位・段位の取得が可能となり、自信にも繋がった。
- ③ 英会話タイムでは、カナダ出身の先生のもと、歌やゲームを通して英会話を学んだ。初めは恥じらいから大きな声で発言が出来なかったが、少しずつ自身がついていき、全員が手をあげて積極的に発言するようになった。
- ④ 心理学タイムでは、子どもたちの「自己肯定感」と「自己受容感」を、育てるアプローチをする。この2つの力は今の時代を生き抜くために絶対不可欠な力。人と比べることなく、自分自身に自信をつけられる様にワークショップを定期的にも実施。



アフタースクール・ロベ（ネオ）では、子供たちが来なくなる学童を目指している。子供の放課後の居場所である学童。保護者は、子供にとって居心地のよい場所であってほしいもの。安全に楽しく過ごせる環境づくりを常に心掛けて運営を行っている。多くの学童クラブは、1年生から3年生が利用の大半をしめているが、アフタースクール・ロベ（ネオ）は4～6年生も多く利用している。



◎むすび

グローバル化や価値観の多様化により、教育現場でも重要視されているダイバーシティ教育。アフタースクール・ロベ（ネオ）でも多様性について理解しお互いを認め合う事の大切さを子ども達と共に学んだ。イベント等も常に子ども達の「自己肯定感」「自己受容感」「他社理解力」の3つの柱をゴールに丁寧に実施することができた。保護者との対話も大切に、子どもたちの成長を共有したり、成長を一緒に喜び合ったりすることができた。更によりよい保育を行えるよう、振り返りを大切にしながら保育の向上を図りたい。

学童保育支援事業 年間利用者数：延べ4774人 場所：万博駅前ロベ・ネオ、みどりの駅前ロベ
【キッズサポート】

ただお預かりするだけの学童クラブではなく、習い事プログラム（国語算数タイム、英会話タイム、習字タイム、心理学タイム）を日替わりで行っています。また各種イベントで経験値を積み上げ「聞く力・相手の立場や心遣いやれる力・思いを伝える力」を育みます。

2023年度 学童保育イベント

- 4/6 新入生歓迎会 BBQ
- 4/7 スライム作り
- 4/24 洞峰公園遠足
- 5/17 性教育「ここから」タイム
- 5/26 誕生日会
- 7/4 性教育「ここから」タイム
- 7/26 誕生日会
- 7/5 七夕飾り
- 7/26 誕生日会
- 7/28 ブルーベリー狩り
- 7/30 かき氷祭り
- 8/1 ギネスに挑戦！？鉛筆立て
- 8/2 ザリガニ釣り
- 8/4 ピザ作り
- 8/6 オリジナルうちわ作り
- 8/10 体育館でバトミントン
- 8/16, 8/17 サマー合宿
- 8/21 ペットボトル水鉄砲作り
- 8/21 性教育「ここから」タイム
- 8/23 流しそうめん
- 8/29 誕生日会
- 9/21 性教育「ここから」タイム
- 10/2 誕生日会
- 10/27 ハロウィンイベント
- 11/27 性教育「ここから」タイム
- 11/30 誕生日会
- 1/19 ラグビー体験
- 1/23 誕生日会
- 2/29 誕生日会
- 3/27 卒業遠足ディズニーランド
- 3/27 性教育「ここから」タイム
- 3/29 お別れ会



【(2) 児童福祉法に基づく障害を持つ児童等の保育及び学習支援事業】

放課後等デイサービスセレサキッズ

【コンセプト】人が人を支え、快適で助け合える社会を

【理念】社会性を身につけ子ども達の未来を守る

【2021年2月に開所。】

小学1年生～高校3年生までの発達上の心配や難しさのある「障害児通所支援受給者証」を持つ子ども達を対象に、放課後14時～19時までの保育を行う。

保護者の仕事の時間を考慮し、最大21時までの延長保育は大変喜ばれている。

2023年4月より「日中一時預かり事業」を開始。不登校支援の一環としても、朝8:00～利用可能。学校と連携し、毎月報告書の提出で出席扱いになるケースも増えてきている。生活リズムを整える事で、学校に行けるようになる子もいる為、重要な役割を果たしている。



【プログラム】

- ★ビジョントレーニング
- ★無学年教材を使った学習
- ★運動療育
- ★食育

●小学生から高校生までの幅広い年齢と一緒に過ごすことで、年上や年下へ接し方等を学ぶことが出来、少人数ならではの関係性を築くことが出来る。

ケンカをした時にはコーチが見守る中、自分の意見を相手に伝えたり、自分とは違う意見を相手から聞き最後には仲直りが出来る様にサポート。人それぞれにいろいろな考え方がある事、尊重し合うことが大切であることを日々の経験から学ぶ。社会性を身につけるうえで重要な訓練となっている。

●現在小学生・中学生・高校生の合計20名程度の登録があり、家庭環境に問題のある登録者も多い。積極的に相談支援事業所や学校と連携し、情報量を増やししっかりとしたサポート体制を整えている。

●2023年7月より理学療法士による体操教室を開始。決められたことを強制されるのを苦手とする子どもたちだが、講師も試行錯誤し1時間集中して楽しく過ごすことが出来ている。

●プログラムの内容に「食育」を追加。毎日のおやつは手作りで、たくさんの野菜を取り入れたものも多く、来所すると子ども達がお手伝いをはじめる。一緒におやつ作りをするイベントも積極的に開催しており人気のイベントとなっている。

【2023年間イベント】

月	イベント内容	月利人数
4月	誕生会・歓迎遠足 BBQ (ゆかりの森)・おやつ作り	145人
5月	誕生会	172人
6月	誕生会・スライム作り	187人
7月	誕生会・七夕・体操教室	194人
8月	誕生会・スイカ割り・水遊び・遠足・ザリガニ釣り・絵を描く会・カフェロベ体験(×2)・カレー作り・学童合同性教育授業・体操教室	170人
9月	誕生会・おやつ作り・粘土スライム・体操教室	159人
10月	誕生会・学童合同ハロウィン・体操教室	174人
11月	誕生会・遠足・お別れ会・体操教室	163人
12月	誕生会・クリスマス会・音楽会	175人
1月	誕生会・遠足・体操教室	159人
2月	誕生会・節分・バレンタインチョコ作り	160人
3月	誕生会・ひな祭り・遠足	178人

※年間延べ利用者人数 : 2036人



【むすび】

今年度は、毎日利用者が大半を占め、夏休み明けからはかなり落ち着いて過ごすことができた。仲間意識もでき、思いやりの気持ちも見られた。スタッフは同じ指導が出来るように、何度も話し合いをしたり指導にも熱が入った。来年度も質の向上を常に目指し子ども達の未来の為、真剣に向き合っていきたい。

(3) 児童生徒の学習支援事業

Robe つくば学習会とは、経済的な理由によって学習塾参加の機会確保が難しい子供への学習支援無料塾である。これまで学習の機会を十分に確保できなかった、小学生から高校生までの児童・生徒に学習支援を行っている。令和5年度におけるつくば学習会の取り組みを下記にまとめる。

1、Robe つくば学習会の理念と目標について

ROBE つくば学習会は、ROBE の理念「愛・調和・感謝」の精神に基づき、下記の目標に取り組んでいる。

- 1) 低所得世帯の児童・生徒へ、学習の機会を提供し、学力の遅れの挽回、成績向上。
- 2) 学習会での勉強や体験のなかでの自己肯定感をはじめとする非認知能力の向上。
- 3) 食、社会の支援情報、体験機会・相談機会などさまざまな方面からの包括的支援。
- 4) 1～3について、児童・生徒、家庭ごとに必要なサポートの見極めとその提供。
- 5) 1～4を通じ、学習機会損失や支援不足に基づく貧困の連鎖を食い止める。

2、実施回数と参加人数について

低所得世帯の子供たち（主に小中高生）に対する無料学習支援事業を行った。つくば市との協働事業であるつくば市青い羽根学習会として竹園教室・谷田部教室を運営した。また、自主事業として万博教室を運営した。実施回数や参加延べ人数等は以下の通りで、多少の増減はあるものの、概ね前年度と同規模で実施した。

	竹園教室 (毎週月曜日)	谷田部教室 (毎週火・木曜日)	万博教室 (毎週土曜日)	合計
実施回数	44回	89回	47回	180回
イベント実施回数	15回	15回	0回	30回
登録生徒人数	42人	50人	22人	114人
参加生徒延べ人数	880人	1765人	163人	2808人
登録コーチ人数	67人	55人	30人	152人

3、新型コロナウイルス感染症等への対応

【実施、来塾の判断】

感染症対策として、学校が休校ないしは学級閉鎖になった場合は、当該の生徒は来塾させない措置をとった。

新型コロナウイルス感染症の国における取り扱いの変化に応じて、従来の運用を改めた。具体的には、文科省が各学校に対して「マスクの着用を求めないことが基本」と通達したことを受けて (https://www.mext.go.jp/content/20230427-mxt_ope01-000004520_1.pdf)、つくば市でも文科省の通達に従うことになり、我々の学習会も同様とすることになった。

基本的には、我々の学習会においては、通常の場合でのマスク等の強制も、食事の際の黙食もお願いしないこととした。発熱等の症状のある場合は、各々の判断の下でマスク等の着用をお願いした。食事前の手洗いは、一般的な衛生観念として引き続き奨励している。

4、つくば市協働事業の学習支援について

下記の通り、つくば市子ども未来課と連携をとり学習支援を行った。

また、現場で起きたことや生徒について、担当課はじめ、家庭相談員、スクールソーシャルワーカー、家庭相談員、未来支援員、他のNPO団体といった各専門機関に協力を要請し、その都度問題の解決を図った。

A：竹園教室		
運営形態	つくば市子ども未来課との協働事業。 「つくばこども青い羽根学習会」の枠組みでの運営。	
	小学生クラス	中高生クラス
学習時間	毎週月曜日 18:30～19:30 授業前半 19:30～20:00 子ども食堂 20:00～20:50 授業後半	
指導スタイル	コーチ1人で、 児童を1人～3人 見る個別指導方式	コーチ1人で、 生徒を1人、ないしは2人 見る個別指導方式
1回あたりの 生徒の 参加人数	6～10名ほど	15～20名ほど
1回あたりの コーチの 参加人数	4～6名ほど	10～15名ほど
利用教材	【のびのびジャンプ】 無学年式の教材で 生徒の理解レベルに合わせた 学習を行った。 教科は国語と算数。	【生徒持参教材】 主に学校のワークブックや、 学校で出されたプリントなど。 【コーチ用意教材】 必要と思われた生徒に対しては、 コーチやROBEで用意した教材 にて学習を行った。
学習の様子 や成果	コーチと生徒のマッチングを極力 固定化するようにして信頼関係を 築き、勉強を前向きに行うこと や、進路相談や悩み事などを気楽 に話せる環境作りを行った。これ によって、重大な悩み事等を早く キャッチできるようになり、多く の生徒の悩み事を解決できるよう になった。	



竹園教室の様子

B：谷田部教室		
運営形態	つくば市子ども未来課との協働事業。 「つくば市子ども青い羽根学習会」の枠組みでの運営。	
学習時間	毎週火曜日、木曜日 18:30～19:30 授業前半 19:30～20:00 こども食堂 20:00～20:50 授業後半	
	小学生クラス	中高生クラス
指導スタイル	コーチ1人で、 児童・生徒を2人～4人 見る個別指導方式。	コーチ1人で、 生徒を1人、ないしは2人 見る個別指導方式。
1回あたりの 生徒の 参加人数	10～15名ほど	8～15名ほど
1回あたりの コーチの 参加人数	3～4名ほど	6～10名ほど
利用教材	【のびのびジャンプ】 無学年式の教材で 児童・生徒の理解レベルに合 わせた学習を行った。 教科は国語と算数。	【生徒持参教材】 主に学校のワークブックや、 学校で出されたプリントなど。 【コーチ用意教材】 必要と思われた生徒に対しては、 コーチや ROBE で用意した教材 にて学習を行った。
学習の様子 や成果	集中力が続かない子も多く、 まずは学習習慣を身に着ける ことを目指した。 また、定められた行動を時間 に沿って行うこと、他の生徒 に迷惑がかかるとはどのよう なことか、といった社会におけ る普遍的なルールの習得にも 力を入れた。 学習においては表面的な理解 で終わらず、本質的理解を 目指し、応用的な問題にも対 応できる力の習得を目指した。	隣の子と私語をしてしまうことを 減らすため、可能な限り各生徒に 担当コーチをつけたり、配席を工 夫して勉強に集中できる環境の設 計に力を入れた。 生徒の勉強への興味を保持するた めに、本、プリントなども取り入 れた。学習会をより意味のある時 間にするために、コーチにも生徒 にも、限られた時間をどう最大限 活かすかを常に意識してもらい学 習支援に取り組んだ。



谷田部教室の様子

両教室ともボランティアコーチの熱意が高く、児童・生徒それぞれに合った学習支援をボランティアコーチとともに探っていくことができた。

5、自主事業の学習支援について

つくば市との協働事業でない、自主での学習支援事業も下記の通り行った。



万博教室（小中高合同）の様子

C：万博教室（小中高合同）			
運営形態	NPO 法人居場所サポートクラブロベにて独自に無料塾を実施。時間帯や場所の都合で竹園教室・谷田部教室に来られない子どもたちが主な対象であった。		
学習時間	毎週土曜日 10:00～12:00	場所	万博記念公園駅前 X-STAGE 006, 005, 003
指導スタイル	コーチ数人で児童・生徒を5名ほどに対応。担当する児童・生徒を決め、学習を支援。コーチ1人で1～2名の児童・生徒を見た。ほぼマンツーマン指導を実現。		
生徒の参加人数	1回あたり4名から6名ほど		
コーチの参加人数	1回あたり3～5名ほど (都内から毎回参加してくれているコーチも含む)		
利用教材	【無学年教材】 無学年式の教材で児童・生徒の理解レベルに合わせた学習を行った。 教科は国語と算数。	【生徒持参教材】 主に学校のワークブックや、学校で出されたプリントなど。 【コーチ用意教材】 必要と思われた生徒に対しては、コーチやROBEで用意した教材にて学習を行った。	
学習の様子や成果	子どもの数が少なく、また、来る児童・生徒とコーチはほとんど決まっているので、比較的毎回同じマッチングが可能になり、お互いの信頼関係を築きやすくなった。 少人数という環境を活かし、勉強で分からない所を質問しやすくなる他、生徒同士で勉強を教えあったりと和気藹々の雰囲気を作り、仲良く学習することができた。		

D：万博教室（難関高校の受験対策、大学受験対策） 【①中3ハイレベルクラス】 【②高2難関大学受験クラス】			
運営形態	NPO 法人居場所サポートクラブロベにて独自に無料塾を実施。 難関校に合格したいという意志があり、進学に意欲がある生徒を 対象として指導を行う。		
学習時間	月、火、木、土	場所	万博記念公園駅前 X-STAGE005, 006, 003 みどりの駅前教室
対象	中学3年生、高校2年生		
指導スタイル	①中3ハイレベルクラス：竹園高校等の難関校に合格できる確かな 実力を身に付ける。（在籍：3名） ②高2難関大学受験クラス：国公立大学（東京外語大、筑波大、高 崎経済大学）への進学を目指し、基礎（教科書レベル）から始めて 応用問題まで解ききれる実力を身に付ける。（在籍：4名）		
1回あたりの 生徒の 参加人数	3名～4名		
1回あたりの コーチの 参加人数	1名(全ての授業を担当。千葉から毎回指導に来てくれて居る)		
利用教材	学校のワークや下記の市販教材 ①中3ハイレベルクラス 新研究(5教科)、教科書ワーク(5教科)、全国高校入試問題正解分 野別過去問(5教科)、中2・3ハイクラステスト(英・数)、中3ハ イクラステスト英語長文、解き方が身につく問題集(5教科)、中学 英単語をひとつひとつわかりやすく、塾技(数学)、中学総合的研究 問題集(英数理社)、県立高校・私立高校の過去問。 ②高2難関大学受験クラス ○英語：ターゲット1900、全レベル問題集英文法1・2、 NextStage 英文法・語法問題集、総合英語 Evergreen、基礎英文解釈 の技術70、やっておきたい英語長文300 ○数学：レジェンド数学Ⅱ・B、レジェンド数学C、緑チャート ○国語（現代文：基礎問題精講、古文：速読古文単語、古典文法演 習ドリル、漢文：漢文ヤマのヤマきめる！共通テスト古文・漢文） ○理科（物理：物理のエッセンス、良問の風、チャート式物理、化 学：鎌田の理論化学、有機化学、福間の無機化学、チャート式化 学）		
学習の様子 や成果	【総括】 学習に対して意欲的な生徒や、自分の将来の夢に向かって努力する 意思がある者のみで在籍しているため、全体的に前向きに学習できて いる。 現実の公立高校入試や大学一般入試における過酷な現状を踏まえ、5 教科450点以上を目指す指導を行った。 結果として、全体的な成績の底上げに繋がり、テストで得点でき ることによって自己肯定感の向上に繋がったと思われる。 ①中3ハイレベルクラス（在籍3名） （指導方針） ・成績を上げるのに時間がかかる英語と数学を中心に土台を固めつ つ、国語・理科・社会も満遍なくフォローしていく。 ・基礎学力の定着を図るとともに、他の受験生と差がつく、レベル の高い問題を中心に授業を行う。 ※英語、数学、国語については、夏期講習で中3までのカリキュラ		

ムを終え、秋以降は復習と応用問題演習を行った。
※理科と社会については、冬休みまでにカリキュラムを終え、復習と定着を目指し演習を実施した。

- ・学校の進度に関係なく先取り学習を行うが、内申が関係する定期テストの10日～2週間前は、テスト対策を中心に実施する
- ・各教科、学校の授業が復習となるよう、先取り学習を実施する。
- ・発問を中心とした参加型の授業を行い、生徒の知的好奇心を刺激し、飽きさせない授業を展開する。

(学習の様子)
毎回の授業非常に高い集中力で、真面目にひたむきに勉強と向き合えた。

(指導成果)

- ・Aさん 県立高校入試：竹園高校合格
＜定期テスト＞5教科の点数(順位)の推移
434点(学年2位)→459点(学年1位)→444点(学年10位)
第9学年内申点：45点/45点
＜実力テスト＞5教科の点数(順位)の推移
426点(学年13位)→417点(学年12位)→458点(学年3位)→449点(学年3位)→472点(学年7位)→466点(学年3位)
＜私立高校入試＞つくば秀英高校 特待合格(受験者2087名中、上位50位以内に入る)
3教科合計266点 5教科合計455点(平均299.7点)
英語：92点、国語：84点、数学：90点、社会：98点、理科：91点
- ・Bさん 県立高校入試：竹園高校不合格→常総学院高校へ進学
＜定期テスト＞5教科の点数(順位)の推移
406点(学年72位)→398点(学年79位)→398点(学年56位)
第9学年内申点：39点/45点
＜実力テスト＞5教科の点数(順位)の推移
380点(学年89位)→390点(学年94位)→391点(学年91位)→389点(学年90位)→442点(学年36位)→402点(学年86位)
＜私立高校入試＞常総学院高校 特待B1合格
- ・Cさん 県立高校入試：土浦第二高校合格
＜定期テスト＞5教科の点数(順位)の推移
403点(学年79位)→408点(学年72位)→397点(学年58位)
第9学年内申点：38点/45点
＜実力テスト＞5教科の点数(順位)の推移
374点(学年94位)→391点(学年93位)→392点(学年90位)→362点(学年115位)→402点(学年76位)→377点(学年106位)
＜私立高校入試＞常総学院高校 特待A合格

②高2難関大学受験クラス(在籍4名)
(指導方針)

- ・共通テストと二次試験を意識。ゴールから逆算して必要な指導を実施した。
- ・基礎学力の定着を図るとともに、他の受験生と差がつく、レベルの高い問題を中心に授業を行った。

・発問を中心とした参加型の授業を行い、生徒の知的好奇心を刺激し、飽きさせない授業を展開する。
 (学習の様子)
 高校生になると学校や部活も忙しくなるが、疲れているながらも集中して勉強できていた。
 (指導成果)
 文系・理系なども含め、全員目指す方向性が異なるため、共通して必要な英語・数学・国語を中心として授業を行った。

- ・Dさん 竹園高校 志望大学：東京外語大学 言語文化学部 言語文化学科（朝鮮語）
河合塾模試、進研模試 偏差値60～65
- ・Eさん 竹園高校 志望大学：筑波大学 人文・文化学群 比較文化学類
河合塾模試、進研模試 偏差値55～60
- ・Fさん 常総学院 特進クラス 志望大学：筑波大学 理系
河合塾模試、進研模試 偏差値55～60
- ・Gさん 土浦三高（商業科） 志望大学：高崎経済大学（商業資格と英語による推薦）

(6) 子育て支援に関する相談・講座・イベントなどの企画運営事業



6、イベント・生きる力教室について
 学習会単独のイベントとして、折に触れ様々なものを開催した（七夕イベント、食育かるた大会、家族等への手紙など）。クリスマスイベント（クリスマスカード作り）、ゴスペルナイト（SDG 様）も実施も随時設けた。

非認知能力の向上を目的として「生きる力」の向上を図ると谷先生。月に1回の目安で教科書だけでは学べない内容を



内容

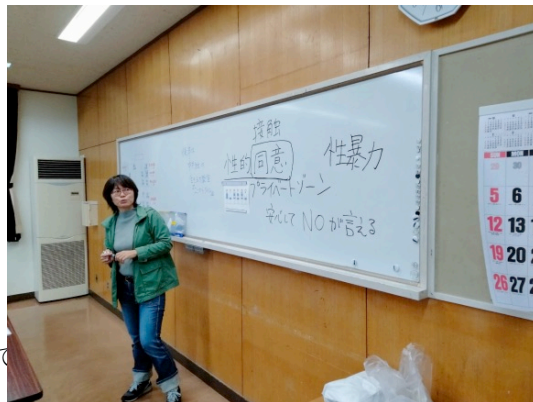


方法



		もらった。
アルコール講座 合計2回実施。	アルコールの影響、特に育ち盛りの子どもにいかにか悪影響を与えるかを学んだ。パッチテストを行い、各自のアルコールに対する感受性を調べた。	筑波大学医学部の教授や先生・学生を招聘し、講義やワークを行ってもらった。
オーラルケア 合計2回実施。	口腔ケア（歯磨き）の重要性を学んだ上で、実践的指導を受けて、習慣づくりを目指した。	株式会社オーラルケアから講師を招聘し、講義や実践的指導を行ってもらった。
「心を育てるグループワーク」 合計2回実施。	ゲーム感覚の様々なグループワークを行い、仲間で協力したり、時にはリーダーシップを発揮することの楽しさ、大切さを学び、大いに盛り上がった。	外部講師、筑波大学の中さんを招聘し、グループワークを行ってもらった。
「薬物乱用防止」 合計1回実施。	「薬物乱用防止」の講義をして頂き、皆真剣に耳を傾け、薬物の危険性について学んだ。	外部講師、ロータリークラブの雨宮先生を招聘し、講義を行ってもらった。
「バリスタ体験」 合計1回実施。	プロの指導の下でバリスタ体験を行い、普段できない楽しい経験をすることができた。	スターバックスジャパンから講師を招聘し、実演指導を受けた。
「食育」 合計1回実施。	食事と非感染性疾患との関係等の講義をして頂き、「食育」の重要性を学んだ。	むすびえ他の外部講師の方々を招聘し、講義を行ってもらった。
「会社の仕組みワークショップ」 合計1回実施。	ワークショップとして、・・・・・・・・	長島コーチを招聘し、講義とワークショップを行ってもらった。

生きる力教室



して
た。 の解決策の考

研修内容は以下の通りである。



内容
等
ア様
対策
共に



生
学
き

10/10	17人	ROBE の過去現在を紹介するとともに未来への展望を紹介した。ベテランのボランティアコーチから、これまでの学習会での指導経験と成果を紹介してもらった。また、自由な意見交換を行った。	指導方針の共通認識を確認することができた。ベテランの指導経験は、今後の指導に向けて参考になった。
2/13	15人	全国子どもの貧困・教育支援団体協議会の合宿セミナーの概要紹介に続いて、コンプライアンスに関する事例紹介とグループ討論を行った。また、令和5年度第2回つくばこどもの青い羽根学習会研修(2/7 開催)の研修内容を共有し、グループ討論を行った。	特に、具体的な事例の議論を通じてコンプライアンスに関する認識を深めることが出来た。青い羽根学習会での指導のあり方も確認することができた。

8、月例コーチミーティングについて

9月以降、毎月1回のボランティアコーチミーティングを開催した。原則として第4金曜日と決めたが、様々な理由で第3金曜日の開催が多かった(開催日は9/15、10/27、11/17、12/22、1/19、2/16、3/15)。数名の世話人をお願いし、世話人主導で会議を運営した。個別事例の検討を含めて生徒児童を指導する上でのアイデアなどについて実務的な議論を行ったほか、自由な意見を述べる場として開催した。



9、今後の課題

【生徒に対して】

つくば学習会での課題としては、特に小中学生の中には勉強が苦手な生徒、やる気はあっても勉強を頑張れない子どもも多くいて、環境や特性が多様多様な中で、職員、ボランティアコーチがどれだけ生徒に寄り添い、居心地の良い環境を継続的に提供してあげられるかが課題になっている。

また、特に高校生の中には、進路の悩みや学校でのトラブルを抱えている生徒が少なからずいるので、気軽に何でも相談できる居場所機能を今後も持ち続けることが大切である。

【ボランティアコーチに関して】

しっかり学習してもらうためには個別指導が望ましいが、その実現のためにはボランティアコーチの人数が不足している。無料塾の活動がもっと広く知られコーチ人数が増えるためには、機会を捉えての告知活動やSNSの活動報告、HPにも引き続き力を入れていく必要がある。また、ささやかであるが、筑波大学構内へ必要に応じてお迎えに行くことも始め、少しでも参加して頂きやすくするように努めた。

また、ボランティアコーチの指導力も問われている。立ち歩いたり騒がしくしていても強く注意できない、模範解答の書き写しのような意味のない作業を看過してしまう、子どもの気持ちに寄り添っていないといった例が挙げられる。ただし、通常の学習塾の様にカリキュラムやプログラムに沿って形式通りに進めることが難しいことも多いため、求められる柔軟性の難易度は高い。その子にはどのような支援が必要かを見抜く分析力が問われている。現場からは学習支援と居場所支援の両方の機能を考えたとき、どこまで勉強に向かわせるかの配分が難しい生徒が増えている。学生コーチも多い中でやむを得ないことであるが、生活や仕事の状況変化によって多くのコーチが1~2年、場合によっては数か月で現場を離れてしまう。生徒の中にはどうせコーチはいなくなるんだから関係を築いても仕方がないと、コーチの名前も覚えない生徒もいる。少しでも改善を図るために各人の名札の着用または設置を励行した。引き続き、コーチの方にも続けたいと思ってもらえるような雰囲気や体制を作り維持して行くことが大切である。

10、むすび

現在、日本の子どもの6人に1人は貧困状態にあると言われている。貧困状態の家庭では、家事に追われたり、塾に行けなかったり、親がずっと仕事で家に勉強を教えてくれる人がいない、という状況に置かれている。すなわち学習に遅れが生じ、学校の進度についていけなくなり、最後には子供たちは自信や希望を失ってってしまう。

そして、学歴と年収には強い相関関係があることは統計上からも明らかになっている。物事を

吸収する意欲を失ったり、頑張ることにネガティブな感覚を持つようになった子は、将来は多くの場合低収入になってしまう。

そのようにして、「貧困の連鎖」が現代日本では横行している。

本無料塾の最大の目的は、「貧困の連鎖の断絶」である。

学習支援により貧困の連鎖が断ち切れ、あらゆる家庭の子どもたちがのびのびと暮らせる世界を実現し、ここで学んだ子供たちが社会に出て、活躍できる大人に成長してほしい。その世界に一步でも近づけるよう、日々できることを一所懸命にしていく所存である。

④各種習い事教室の開設、運営事業

・ヒューマンアカデミー社のFC加盟によるロボット教室・こどもプログラミング教室の運営と翌年度の計画

小学2年生から小学6年生までの生徒9名の生徒さんが在籍し、ロボット教室は月に2回の授業で金曜日又は土曜日にみどりの学童施設において開催。ロボット制作プログラムは、ヒューマンアカデミー社の提供する教材を用いて、モーターで動く基本のロボット制作(プライマリーコース及びベーシックコース)からタブレットで動きをプログラミングする中上級コース(ミドルコース及びアドバンスコース)まで幅広く指導を行った。各コースは規定の履修回が定められているが、長時間集中することが難しかった生徒も、コミュニケーションを積極的に取りながらお互いの組み立ての補助を行い、最終的に自力で集中して進めることができるようになり、成長を感じられた。また、1月にヒューマンアカデミー主催のロボット教室体験会のチラシを近隣の小学校の全生徒にいきわたるよう配布し、2、3月両月で体験会を実施した。ロボット教室開催日の土曜日の午前、午後で行い、各日が満員になり大盛況だった。後日入会(4月から入会)にもつながり、今後の活動にもつながられた。

年度途中で教室を卒業される生徒さんもいたが、年間を通じた体験授業や同法人が運営する学童と連携し、チラシのポスティングや、保護者への入会促進活動により新規生徒さんの入会につなげることができた。こどもプログラミング教室は月に2回の授業で木曜日にみどりの学童施設において開催。7月より開校し、当初は2名からのスタートだったが12月より1名入会し、現在は3名となっている。プログラミング教室はロボット制作と同じようにヒューマンアカデミー社の提供するテキストを用いてプログラミングの基礎を学び、スクラッチ(プログラミングソフト)を使用して正確にプログラミングをすることの重要性を学んでいる。少しずつであるが、プログラミングのスピードと正確性が上がってきている所に成長を感じられる。

教室運営においては、昨年度からのLINEの教室公式アカウントを活用し、保護者の方と運営事務局側が連絡を取りやすい体制を整えていたことが、教室の安定的な運営に役立った。また、保護者の方との連絡を密にし、振替などの希望に柔軟に対応しながら継続して教室に通っていただくことができた。

また、今後も近隣地域へのポスティングや、小学校校門前でのチラシ配布、学童保護者への告知活動を現在行っており、より多くの子供たちにロボット制作、プログラミングの楽しさを広めていく。

2023年度	ロボット教室 (隔週金曜日)	ロボット教室 (隔週土曜日)	こどもプログラミ ング教室 (隔週木曜日)	合計(延べ人 数、回数)
実施日、 参加人数	4月7日(3名)、21日(3名)	4月8日(3名)、22日(3名)	7月6日(2名)、20日(2名)	66回、190名
	5月12日(3名)、19日(3名)	5月13日(3名)、20日(3名)	8月3日(2名)、17日(2名)	
	6月2日(3名)、16日(3名)	6月3日(3名)、17日(3名)	9月7日(2名)、14日(2名)	
	7月7日(3名)、21日(3名)	7月8日(3名)、22日(3名)	10月5日(2名)、19日(2名)	
	8月4日(3名)、18日(3名)	8月5日(3名)、19日(3名)	11月9日(2名)、16日(2名)	
	9月1日(3名)、15日(3名)	9月2日(3名)、16日(3名)	12月7日(3名)、14日(3名)	
	10月6日(3名)、20日(3名)	10月7日(3名)	1月11日(3名)	

11月10日(3名)	21日(3名)	18日(3名)	
17日(3名)			
11月11日(3名)	2月1日(3名)		
12月1日(3名)	18日(3名)	15日(3名)	
15日(3名)			
12月2日(3名)	3月7日(3名)		
1月12日(2名)	16日(3名)	14日(3名)	
19日(2名)			
1月13日(3名)			
2月2日(2名)	20日(3名)		計18回、50名
16日(2名)			
2月3日(3名)			
3月1日(3名)	17日(3名)		
15日(3名)			
3月2日(3名)	16日(3名)		
計24回、68名			
			計24回、72名



(5) コミュニティカフェの運営

◎みんなのカフェ・ロベ

みんなのカフェ・ロベは日本財団の助成を受け、2022年7月につくば市緑が丘に子ども第三の居場所として運営がスタートし、2023年度は2年目の運営となっている。コンセプトは孤食・孤立を避け誰一人取り残されない地域子育てコミュニティの創生。利用者は未就学児、学生、地域のお年寄り、ボランティアさん等、幅広い年代が集い、子供達がコミュニケーション能力や社会性を養う居場所となっている。SSWの紹介でカフェ・ロベをレギュラー利用する子が多く、交通手段のない子は送迎対応をしている。

運営日時	月・水・金 (祝日休み) 14時～20時
------	----------------------

事業内容	カフェ 14時～ 子ども 150円 大人 300円 子ども食堂 18時～ 子ども 200円 大人 400円 学習塾
レギュラー登録人数/のべ利用人数	21名/ 856名

日別利用人数

開所日	人数	開所日	人数	開所日	人数	開所日	人数	開所日	人数	開所日	人数
4/3	9名	5/1	4名	6/2	1名	7/3	5名	8/2	6名	9/1	6名
4/5	8名	5/8	8名	6/5	7名	7/5	5名	8/4	8名	9/4	6名
4/7	7名	5/10	5名	6/7	3名	7/7	3名	8/7	9名	9/6	4名
4/10	10名	5/15	7名	6/9	3名	7/10	4名	8/9	8名	9/8	5名
4/12	8名	5/17	5名	6/12	3名	7/12	7名	8/16	2名	9/11	4名
4/14	6名	5/19	4名	6/14	3名	7/14	3名	8/18	4名	9/13	3名
4/17	12名	5/22	5名	6/16	5名	7/19	7名	8/21	6名	9/15	8名
4/19	7名	5/24	4名	6/19	5名	7/21	4名	8/23	7名	9/20	6名
4/21	4名	5/26	2名	6/21	12名	7/24	4名	8/25	9名	9/22	6名
4/24	8名	5/29	4名	6/23	3名	7/26	6名	8/28	7名	9/25	7名
4/26	9名	5/31	1名	6/26	3名	7/28	2名	8/30	9名	9/27	6名
4/28	4名			6/28	4名	7/31	18名			9/29	8名
				6/30	3名						

開所日	人数	開所日	人数	開所日	人数	開所日	人数	開所日	人数	開所日	人数
10/2	5名	11/1	3名	12/1	10名	1/5	3名	2/2	7名	3/1	17名
10/4	2名	11/6	5名	12/4	10名	1/10	7名	2/7	6名	3/4	7名
10/6	4名	11/8	6名	12/6	7名	1/12	8名	2/9	6名	3/6	10名
10/11	4名	11/10	6名	12/8	3名	1/15	7名	2/14	6名	3/13	8名
10/13	6名	11/13	2名	12/11	5名	1/17	6名	2/19	6名	3/15	5名
10/16	4名	11/15	7名	12/13	8名	1/19	11名	2/21	6名	3/18	9名
10/18	6名	11/17	6名	12/15	6名	1/22	6名	2/26	6名	3/22	13名
10/20	8名	11/20	5名	12/18	5名	1/24	6名	2/28	9名	2/25	3名
10/23	7名	11/22	6名	12/20	18名	1/26	5名			2/27	6名
10/25	6名	11/24	4名	12/22	6名	1/29	6名			3/29	4名
10/27	4名	11/27	6名	12/25	11名	1/31	10名				
10/30	23名	11/29	6名	12/27	6名						
				12/29	3名						

子供達は、与えられるだけのお客様ではなく、食事作りや、片づけ、部屋やトイレ掃除などに参加し、「生きる力」を養っている。子ども食堂はヒノキのダイニングテーブルに集まり、みんなでいただきますをして食卓を囲む。夕飯は野菜をたっぷり使った健康的なメニューを提供している。



1年目はカフェ・ロベ内でのイベントを開催していたが、2年目は地域の人も巻き込んだイベントを開催し、地域とのつながりを作ることを目指した。6月地域参加型蕎麦打ち体験イベント、7月カフェ・ロベ1周年記念バルーンアートイベント、10月ハロウィンイベント、11月大人のための肩こり改善ヨガ講座は、緑が丘地域に一軒一軒チラシをポスティングし、参加者を募集した。イベントをきっかけにカフェ・ロベを利用する地域の子供達が増え、気軽に遊びに来たり、宿題をしに来たりするようになった。蕎麦打ち体験では、粉をふるい、加水し、混ぜたり練ったり棒で伸ばし生地をたたんで切る等、様々な工程を初体験した。自分で作った打ちたての蕎麦は美味しくできて、みんなおかわりしていた。1周年記念イベントでは、バルーンアートでキャラクターを作ったり、流しそうめん、スイカ割、かき氷、ヨーヨー釣り等、夏らしい風物詩を味わった。



十五夜満月のお月見イベントではみんなで作ったお団子と野菜と秋の草花をお供えし、満月に収穫の感謝を表した。冬至の日にはこんにゃく、大根、南瓜、ニンジンなど「ん」のつく食べ物を夕飯に出した。「ん」のつく食べ物は運を呼び込むと言われており、冬至に「ん」のつく食べ物を食べる風習があることを伝えた。節分には子供達は自分で食べる恵方巻を自分で具材を選び、巻いて作ってもらった。季節イベントを通し、日本の伝統文化、伝統食を継承することを大切にしている。

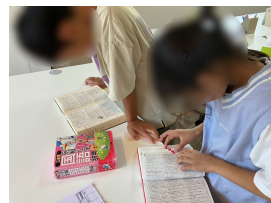
季節のイベントでは、夕飯をイベント特別メニューにしたり、部屋を飾りつけして楽しんでいる。ハロウィンの時には仮装した子供達が地域住民のお宅を訪問し、お菓子を配布いただきご近所様にご協力いただいた。クリスマス会では地域の方がクリスマスソングなどをギター演奏して子供達にきかせて下さった。地域の方と協力して季節イベントを盛り上げ、家族のように一緒に楽しむことが出来ている。



カフェ・ロベでは様々な学びの機会を提供している。塾は無学年教材を使い、学年関係なく個人のレベルに合わせた戻り学習を実施しており、基礎力がつくよう指導している。講師の方をお招きし、「お金のトラブルから身を守ろう」をテーマにマネー講座を開催い

ただいた。クイズ形式で、身近なトラブルの対処法を学んだ。歯科衛生士の方に「オーラルケア」の生きる力教室を開催いただいた。

カフェ・ロベスタッフは日本財団様ご提供の、全部で 5 回のスキルアップ研修を受けており、そこで学んだワークを子供達に提供している。子供達は、言われて嬉しい言葉、嫌な言葉を皆で考えたり、今日の気分を天気に表示絵をかいて発表したり、チャレンジしたい事を絵にかき、自分自身を励ます言葉を発表したり、無人島に行くときの役割を考え発表したり等様々なワークを行った。また、大人も子供も交じって様々なゲームを行い交流し、生きる力を養う取り組みを実施している。



【今後の課題】

イベントの時はカフェ・ロベに多くの子供や大人が集まりにぎわっているが、日々の運営で地域の大人に気軽に足を運んでいただくには敷居が高いのか、呼び込むのが難しい。地域の方と子育てコミュニティーを作っていきたいので、地域の方とのつながりを深め、利用者を増やしたい。

再来年度からは日本財団の助成が終わり、自立して運営していかないといけないため、自立を見据えた運営方法を模索する必要がある。

【むすび】

みんなのカフェ・ロベ2年目の運営は1年目にはできなかった、地域の人を巻き込むイベントを開催することが出来き、多くの方にご参加いただき大変盛り上がった。緑が丘地域にイベントのお知らせのチラシを配布したことでカフェ・ロベの認知が広がり、地域の子供達が気軽に遊びに来てくれるようになり、嬉しく思っている。カフェ・ロベには地域の子供たちやSSWの紹介の子供達が通っており、年代は幼児から高校生まで幅広い。一緒に遊んだり、勉強をしたり、食事をしたり、掃除をしたり、カフェ・ロベで過ごすことで多くの人とかかわり、助け合いながら生きることを学んでいると感じている。

今年度も日本財団様をはじめ、支援にご協力くださった関係各様やボランティアの皆様のおかげで子供達にたくさんの体験を提供することが出来、大変感謝している。

（10）障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業

◎障害者グループホーム『居場所ホームセラ』

2020年度10月より始動した居場所ホームセラも4年目を迎え、A棟本入所3名B棟本入所3名での23年度をスタートさせた。

A棟の状況：5月に母親との二人暮らしのつくば特別支援学校的女子生徒が母親手術入院のため短期入所で約3週間滞在。

10月に約3年セラサで過ごした27歳男性が退去 x cx

1月より母親からの虐待を受けた20歳女性をシェルターとして保護し体験入所から本入居となった。

B棟の状況：

8月 つくば特別支援学校中学2年生の男子が1泊短期利用。

9月以降 エコー学園の男性45歳が毎月1回短期利用

A棟3名 B棟3名で現在に至る。

日中活動は各就労施設での作業を休まず通う事、ホームでは、食事の後片付け自室の掃除洗濯等自立に必要な事を学んで一人暮らしを目指しています。

イベント

4月カラオケ大会開催

8月外食

ホームの庭では家庭菜園もしており夏はキュウリ、ナス、トマト、冬はほうれん草、大根を栽培収穫して食卓に彩りを添えた。

見学希望の対応も随時行った。

1. 体験・短期入所を実施（本入所に向けて生活を体験していただく）

① 体験入所

・T,O様（20歳・女）1月30日～2月29日

短期入所

・N,M様（45歳・男）毎月第3木曜日

・H,N様（8歳・女）9月1泊

・N,K様（14歳・男）7月1泊、8月1泊

2. 本入所

・T,O様（20歳・女）R6・3月1日～

〔12〕子ども食堂の運営

計10の団体と連携し、子ども食堂を行った。各子ども食堂チームから、本日のメニューにした理由、本日工夫したところ、本日のメニューで大変であったところ、食材の調達方法の4項目を伺い、子ども達やコーチに直接伝えてもらったり、こちらから伝達し、感謝の気持ちがより醸成されやすいようにした。

また、様々な皆様からの食材やお菓子等のご寄付も頂き、子ども達のために有効に活用させて頂いた。

◎効果

食事前の手洗いの勧め、SDGsの観点からの食べ残しを減らすために少なめのプレートを作って頂いたり、たくさん食べられない生徒からの事前の取り分け、感謝して頂き極力無駄にしないことや、好き嫌いの激しい生徒でも手作りの食事によって好き嫌いを減らすことができた事も含めた食育指導ができた。

コーチと一緒に食事をする事で“心の栄養”の補給となった。

孤食が当たり前だったり、インスタント食品ばかり食べている子たちにとって、つくば学習会に来る楽しみのひとつとなった。また、各団体へ、さまざまな方、団体様から頂いた寄付物品を渡すハブとして機能した。感染症拡大防止の観点から衛生的環境づくりを徹底した。

【子ども食堂について】

現在、食事提供は10団体でのローテーションをお願いしているが、月に16回程度の実施日に対して食事を提供して下さる団体数が不足している。授業や部活が終わってから学習会に来る生徒にとって、食事は貴重なエネルギー源である。21時近くまで学習時間は及ぶので、どの子にも空腹に耐えながら学習するように思いはさせたくない。

生徒とコーチの人数は以前よりも増加しており、各団体にかかる負荷も高まっている。一人でおにぎりを40～50個作って頂いたこともあった。それに応じて各団体の食材費の負担も高くなってきている。2022年度に続いて2023年度もつくば市から子ども食堂に対してある程度の資金援助を頂いたが、引き続き多くの団体に実費での負担もして頂いている。

ハラルの子、アレルギーのある子、人の手が触れたものを食べられない子といった生徒の特性に対する対応もあるし、SDGsの観点から食べ残しを減らすために、少なめのプレートを作って頂いたりすることもあり、工程がやや煩雑になってきているが、皆様の多大な貢献によって成り立っている。

